

微分方程式

微分方程式に含まれる y の導関数の最大の次数 ($y^{(n)}$ の n の最大値) を階数という。

☞薬学では、使う微分方程式の多くは2階までなので、

y' を含むと 階微分方程式,

y'' を含むと 階微分方程式, と覚えておけば十分である。

【問】 次の微分方程式の階数を答えよ。

(1) $x^3y + y'' \sin x - \frac{1-x}{x^3} = y$

(2) $y'x^3 - \log x = 3$

(3) $y' = f(x) \cdot g(x)$

薬学で使うおもな微分方程式 $\left\{ \begin{array}{ll} \text{変数分離形} & \Rightarrow \text{0次 - 2次反応} \\ \text{1階線形微分方程式} & \\ \text{2階線形微分方程式} & \Rightarrow \text{逐次反応} \end{array} \right.$

✪ 化学薬品の反応速度

薬品が反応する速度を反応速度といい濃度 C の時間変化 (時間で微分) で表される。ある反応 $A \rightarrow B$ において A の濃度を C とすると、反応速度は

$$v = -\frac{dC_A}{dt}$$

と表される。(A が減少して B が作られているので $-$ がつく) 反応速度 v が A の濃度 C の n 乗に比例するとき、 n 次反応という。

$$\text{0次反応} \quad v = -\frac{dC}{dt} = kC^0 = k$$

$$\text{1次反応} \quad v = -\frac{dC}{dt} = kC^1$$

$$\text{2次反応} \quad v = -\frac{dC}{dt} = kC^2$$

【変数分離形】

$$\boxed{y \text{ の式}} \frac{dy}{dx} = \boxed{x \text{ の式}}$$

【例題 87】 $y' = Ay^2$ (A 定数) を

$$\boxed{y \text{ の式}} \frac{dy}{dx} = \boxed{x \text{ の式}} \text{ で表すと, } \boxed{\phantom{x \text{ の式}}} \frac{dy}{dx} = \boxed{\phantom{x \text{ の式}}}.$$

ただし, 分母は 0 でないので,

x で積分して,

$$\int \left(\boxed{\phantom{x \text{ の式}}} \frac{dy}{dx} \right) dx = \int \boxed{\phantom{x \text{ の式}}} dx$$

$$\boxed{\phantom{x \text{ の式}}} = \boxed{\phantom{x \text{ の式}}}$$

$$\boxed{\phantom{x \text{ の式}}} = \boxed{\phantom{x \text{ の式}}}$$

$$y = \boxed{\phantom{x \text{ の式}}}$$

でないとき

と より解は

となる.

【例題 88】 $(x-1)\frac{dy}{dx} + (y-1) = 0$ を

y の式 $\frac{dy}{dx} =$ x の式 で表すと, $\frac{dy}{dx} =$

ただし, 分母は 0 でないので,

x で積分して, $\int \left(\frac{dy}{dx} \right) dx = \int dx$

$\int \frac{dy}{dx} dx = \int dx$

$\int \frac{dy}{dx} dx = \int dx$

$\int \frac{dy}{dx} dx = \int dx$

$\int \frac{dy}{dx} dx = \int dx$

$\int \frac{dy}{dx} dx = \int dx$

よって,

$\int \frac{dy}{dx} dx = \int dx$

でないとき,

$\int \frac{dy}{dx} dx = \int dx$

と より解は,

$\int \frac{dy}{dx} dx = \int dx$

となる.

微分方程式の解は $y = f(x)$ の形でなくてよい.

$\log |y| =$ がでてきたとき, $\log e = 1$ に注意して

$\log |y| =$ $\times \log e$ と変形すれば, $\log |y| = \log e$ となる.

したがって, $y =$ である.

1 階線形微分方程式

$$y' + p(x)y = q(x)$$

の一般解は,

$$y = e^{-\int p(x) dx} \left\{ \int e^{\int p(x) dx} q(x) dx + C \right\} \quad (C \text{ は任意定数})$$

となる.

【例題 92】(1) $y' + xy = 3x$ y' の係数が 1 に注意.

$p(x) =$, $q(x) =$ より

$\int p(x) dx =$.

$e^{-\int p(x) dx} =$, $e^{\int p(x) dx} q(x) =$ より

$\int e^{\int p(x) dx} q(x) dx =$ $=$.

よって, $y =$

$=$.